

教育長の再任問題で 藤沢のり子文教委員長が談話

今県議会に提案されています瀬良和征教育長の教育委員選任の人事案件が昨日（12月15日）の文教委員会において多数の反対で否決されました。日本共産党県議団は、瀬良教育長の再任は賛成です。

瀬良教育長はこの2年間に30人規模学級の小学校全学年への拡大、障害児教育などを前進させてきました。30人規模学級は長い間の県民の願いであり、県民からは大歓迎されています。

また、教育長としていまだかつてなく積極的に現場に足を運び、学校現場のよすをつかむ努力をしてきました。県民のための教育改革を大きく前進させてきた教育長を、子どもたちの健やかな成長よりも、政治的思惑を優先させて再任の否決をしたことは全く理不尽なことです。

一部に行政の独立性についての指摘もありますが反省を述べておりこれをとらえて事実上の罷免（ひめん）などにはまったくあたりません。

県民の皆さんと共に20日の県議会最終日まで教育委員の人事案件採択に向けてがんばります。

* 藤沢議員は文教委員長のため委員会の採決には加われません。